



2月17日、「高知富士通テクノポート」の起工式が南国オフィスパークで行われました。

企業誘致関係

雇用の拡大を図る

南国オフィスパーク団地に富士通株式会社が平成15年9月に操業を予定しています。

また、なんごく流通団地には四国名鉄運輸株式会社、ソルト・サプライ株式会社が進出を予定しています。さらに、高知のみ流通団地には株式会社ガソニック스가工場立地を予定しています。

幼児医療

2歳児外来まで拡大

市費単独で、満2歳児外来まで拡大し医療費を助成することにより、次の世代を担う子どもたちが、元気で健やかで心豊かに育つように努めます。

国保事業

被保険者証の個人カード化を実施

4月から被用者保険における一部負担金の割合を見直すことに併せて、退職被保険者の一部負担金割合は3割となります。また、被保険者へのサービス向上や利便性を考慮して被保険者証を個人カード化します。

健康診査

高齢者検診の導入を検討

これまで疾病の早期発見を目的として実施してきた基本健康診査やがん検診に加え、身体的活動能力・知的機能・情緒的精神的な健康度を測定し、その結果により、各個人に見合った健康増進や機能低下防止を行う教室活動に結びつけることを目的とした「高齢者健診」の導入を検討していきます。

支援費制度

利用者本位のきめ細やかな対応を

身体・知的障害者に対し、これまで県立療育福祉センターで措置制度として入所の適否の判定をしていましたが、本年4月から支援費制度として、市で障害程度区分・支給量・支給期間などを決定することとなります。

これに伴い、現在、保健師とともに対象者との面接調査を実施しており、利用者本位のきめ細やかな対応に努めています。

十市保育所民営化

6月議会に提案

平成16年4月民営化実施に向けて、4回にわたり十市地区全体の地元説明会などを開催しました。しかし、保護者会役員から民営化に向けての内部協議などに今少し時間がほしいとの申入れがあり、検討した結果、6月議会に議案を提案することとしました。

文化財関係

文化財の普及および啓蒙活動を推進

本市の文化遺産・遺跡などを改めて再発見していただくために、「ふるさと再発見事業」として、南国市の歴史を体験できる遺跡の見学と出土遺物に直接触れることのできる考古学教室を新たに開催するとともに、「市の鳥オナガドリ」を国際的に発信するシンポジウムの開催にも取り組んでいきます。

市立図書館

開館時間を変更

日曜開館により、来館者も徐

々に増加してはいますが、さらに平成15年度からは仕事帰りや学校帰りの方々にも利用していただけのように、開館時間を午前10時から午後6時までに変更します。

教育関係

これまでの事業を見直し、より効果的・効率的な展開を図る

「かがやく明日への人づくり」をモットーに、これまで以上に教育県都・南国にふさわしい次代を切り開く取り組みを積極的に進めていきます。

特に、学校の特色を活かし、子どもたちの姿の見える教育課程を編成するとともに、適切な学校評価を行い、家庭や地域の期待と信頼に応える学校づくりを進めていきます。

プラスチック容器包装類の分別収集スタート

廃棄物の再資源化推進

紙類・布類・ビン類に加え、昨年度からペットボトルの分別収集に取り組んできましたが、4月から新たにプラスチック容器包装類の分別収集を行います。今後一層、廃棄物の再資源化・一般廃棄物の減量に努めていきます。

南国市住宅防災計画

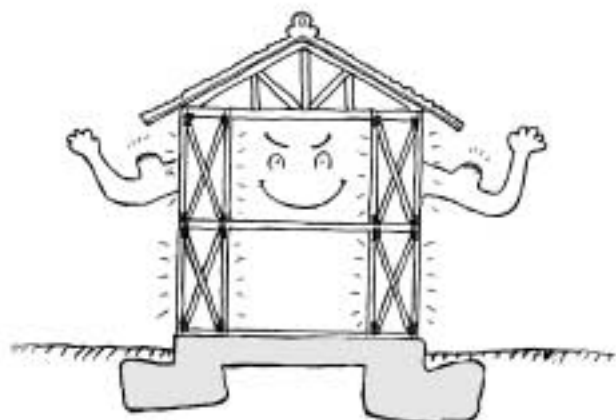
安全な住宅・まちづくりをめざして

防災で 「市民・わが家・ みんな安心」計画

市では南海地震対策として、平成15年度から耐震性の高い安全な住宅の普及・安全なまちづくりをめざし、市内全域を対象とした『密集住宅市街地耐震安全性調査・木造住宅「あんしん」対策補助事業』を実施します。

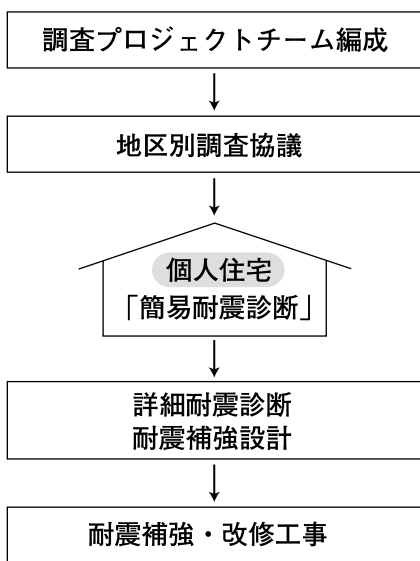
市内には昭和56年（建築基準法改正）以前建築の木造住宅や、小規模の住宅密集地域が数多くあり、地震による住宅災害や密集地域での住宅倒壊・火災による大規模な災害が、予測されます。

安心して住める住宅や安全なまちづくりをめざし、自主防災組織の皆さんと一緒に地域の防災を推進していきます。



計画の概要

- 【名称】 防災で「市民・わが家・みんな安心」計画
- 【期間】 平成15年度から5カ年計画
- 【対象区域】 市内全域
- 【対象建物】 一般住宅（昭和56年以前建築の木造専用・併用住宅）
- 【調査内容】 木造簡易耐震性調査
木造耐震診断調査（自己負担が必要です）
- 【住宅耐震施工】 市民が安心して耐震補強・改修工事の注文できる業者の育成《なんこく住宅改援隊》



調査方法のながれ

自主防災組織

現地調査（耐震診断、市民意識調査）
*調査は任意のもので、強制ではありません

木造住宅「あんしん」対策補助事業の活用

なんこく住宅改援隊 | 住宅金融公庫リフォームローンなどの活用

※お問い合わせは、住宅課建築係（☎880-6558）まで